

旅の疲れを癒す和みの空間



食事コーナー
日本海で獲れた魚を日替わりでお楽しみいただける「魚菜丼」や地元産食材を使った「魚菜定食」のほか、海鮮バーベキューコーナー、ゆったりくつろげる和室もあります。

売り場コーナー
地元農産物加工品や銘菓、水産加工品や干物、また、100年前の余部鉄橋鋼材で作った余部鉄橋グッズなどを取り揃えています。

情報コーナー
3台の大型モニターに加え、タッチパネル式の案内端末で各種道路情報をご覧いただけます。また、余部鉄橋の歴史が分かる模型・DVD映像や山陰海岸ジオパークの見所などの資料コーナーもあります。



春と秋の感謝祭やイベントも開催、地元の野菜や魚介類の販売、景品が当たるゲーム、屋台も出ます。



- お車で…
山陰近畿自動車道(余部IC)下車すぐ
・大阪・神戸から約2時間30分
・京都から約3時間
・姫路から約2時間
- JRで…
JR山陰本線余部駅下車すぐ

道の駅 あまるべ

海の幸を味わう
余部村 魚菜店

- 駐車場/18台(大型:2台、普通車:16台)
- トイレ/男性、女性、多目的トイレ
- 公衆電話/1台
- 営業時間/午前9時~午後6時(夏期:午後7時まで)
- 食事/午前10時~午後2時
- 定休日/無休



香美町役場観光商工課
☎ 0796-36-3355 FAX 0796-36-3809
道の駅あまるべ ☎ 0796-20-3617

約100年の歴史を刻んだ「余部鉄橋」が生まれかわりました



余部クリスタルタワー

~高さ41mの浮遊感へご招待~

余部鉄橋「空の駅」
道の駅あまるべ

光り輝く
空の駅へ



平成29年(2017年)、余部鉄橋「空の駅」にエレベーター完成!

愛称は「余部クリスタルタワー」、全面ガラス張り。日本海の絶景を眺めながら、高さ41mの浮遊感をお楽しみください。

明治45年(1912年)の完成から約100年間、JR山陰本線を見守り続けてきた余部鉄橋。

平成22年(2010年)、新しくコンクリート橋に架け替えられましたが、JR余部駅側の3本の橋脚は現地保存され、余部鉄橋「空の駅」展望施設として生まれ変わりました。

余部橋梁下には、公園もあり橋脚跡を利用した東屋や芝生張りの自由広場でゆったりとした時間を過ごすことができます。

階段室に設置した12基のLED投光器によって、季節ごとに色を変えて光ります。

春
グリーン

レインボー

レインボーが見られたらラッキー♡

夏
ブルー

冬
ホワイト

ライトアップは日没から午後9時30分まで毎日点灯

秋
オレンジ

【施設概要】
構造：鉄骨造2階建て
面積：120㎡
高さ：47m
メーカー：三菱電機(株)
定員：15名
速度：60m/min
工期：平成28年10月着手
平成29年11月完成
総工費：約6億円

【利用時間】
午前6時～午後9時30分(無休)
【利用料金】
無料

公園

余部橋梁下にある公園には、橋脚跡を利用した東屋や芝生張りの自由広場があり、ゆったりとした時間を過ごすことができます。



余部鉄橋「空の駅」エレベーター 余部クリスタルタワー



余部鉄橋のレールや枕木の上を歩くことができます



エレベーターからの眺望



ベンチに座って日本海の眺望を楽しめます



ふれあいガーデン

エレベーター乗り場、空の駅への玄関口、高さ41mの絶景へご案内します

余部鉄橋 東洋一を誇った鋼トレスル式高架橋



川崎一が、現場工区主任に岡村信三郎があたり、工事には延べ25万人を要しました。

昭和34年 待望の余部駅が完成

立派な鉄橋が完成しても駅がないために不便な生活が強いられていた昭和30年頃、余部の人々は当時の国鉄に駅の設置を強く働きかけ、さらに余部小学校児童も阪本勝兵衛県知事に手紙を届けるなどした結果、ようやく駅ができることになりました。子供と大人が力を合わせ、海岸から玉石を運び上げて駅までの道やホームをつくりあげ、昭和34年(1959年)ついに「余部駅」が誕生しました。念願の一番列車が到着し、村中総出で歓迎、大喜びしました。



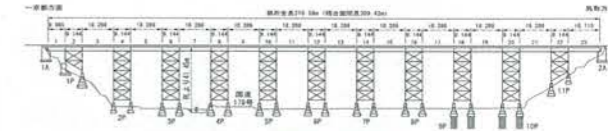
橋脚が並んだ建設工事現場(明治44年8月)

概要

橋梁形式：鋼トレスル式高架橋
規模：橋長310.59m
高さ41.45m
工期：明治42年12月着手
明治45年1月完成
総工費：331,536円(当時)

明治45年 余部鉄橋の完成

明治42年(1909年)12月着工。橋脚はアメリカンブリッジCOペンコイド工場で製作され、はるばる海を渡って輸入された鋼材を使用し、機械力の乏しい前近代的工法の中にあつて当時最高の技術を駆使し、明治45年(1912年)1月に完成。同年3月1日に山陰本線が全線開通しました。橋梁設計は、鉄道院技師の古



余部駅に到着の一番列車(昭和34年4月)

余部橋梁



ることなどから、エクストラードPC橋が採用されています。

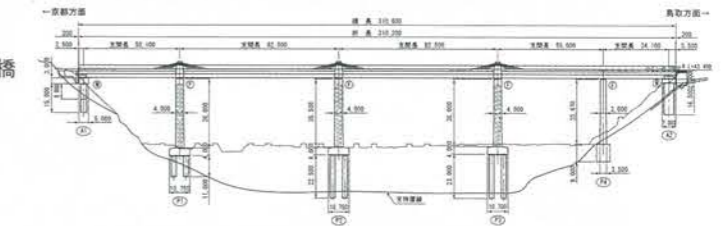
定時性を確保するため、透明なアクリル製の防風壁を設置し、風速30m/sでの列車運行が可能となりました。



美しい日本海を望む新余部橋梁

概要

構造形式：エクストラードPC橋
規模：橋長310.6m
高さ41.5m
工期：平成19年3月着手
平成22年8月完成
事業費：約30億円



鉄橋からコンクリート橋へ

明治45年(1912年)に完成した余部鉄橋は、列車運行規制風速が20m/sに定められており、特に冬季間の強風時には列車の遅延、運休がたびたび発生していました。

列車運行の安全性向上と定時性の確保を図るため、平成3年に「余部鉄橋対策協議会」が設立され、専門家による調査検討が行われました。

協議会では、旧橋梁に防風壁を設置することも含め様々な技術的検討がなされた結果、防風壁を備えたコンクリート製の新橋梁に架け替えを行うことになりました。

新しい橋梁の形式は、これまでの余部鉄橋のイメージ「直線で構成されたシンプルな美しさ」と「風景に溶け込む透明感」を継承する橋をデザインコンセプトとし、耐風性などに優れ

記念誌『余部鉄橋』

余部鉄橋の建設の歴史など、写真付きで分かりやすく解説した記念誌『余部鉄橋』、好評発売中です。



■ご購入は、道の駅あまるべ
香美町香住区余部 1723-4
TEL.0796-20-3617